

園はトップが育てる!

理念は最大の戦略

第1回 はじめに～「理念」が育てる園の未来



執筆 佐藤芳直
(株式会社S・Yワークス代表)

地域に選ばれる園へと自園を育てるために、トップは園の理念を哲学として深化させ、職員・保護者・地域に伝わる形で発信していくことが重要です。4月号では、子どもの未来に向けて希望を約束するための経営理念と、それを職員や保護者と共有していくうえで大切な視点を、経営コンサルタントの佐藤芳直先生に教えていただきます。

1 20年後の社会と園児たちこそ真の顧客

「皆さまのお客さま」はだれですか？」
私が講演で、理事長先生、園長先生によく発する質問です。

保護者、園児、その両方……。最もよく返ってくる答えです。むしろ、ほとんどの答えはこのどれかに集中します。

もちろん間違いではありません。しかし、正解とは言えないと思います。厳密に言うならば答えは、

20年後の社会、そして20年後の園児たちこそ真の顧客ではないでしょうか。

2 教育の本義は、社会に貢献する人財の育成

一方で、「20年後の社会などわかるはずもない。それに、20年後の園児に責任をもてと言われても、小

中・高・大と、卒園後の教育期間のほうが長いではないか」、そんな声も聞こえてきそうです。確かに、園での教育でどんなに園児を慈しみ、育んでも、3、4年でその成果を無に帰すような現象は枚挙に暇がありません。

しかし、園長先生は保護者の方々にも必ず、「三つ子の魂百まで」と昔から言われるように……と口にしてはいるはずですが。

「教育の本義はどこにあるのか? 自分自身の長所を活かし、社会に有為な貢献をする人財を育むことにある」

これは、私が主宰する園経営者対象の勉強会「素心塾」で、毎回発信している言葉です。

園での教育が、園児たちの心にとんな種を落とせるか。未来に芽吹くであろう大樹の予感こそが、園長はじめ、園にかかわる人々の「希望」であると思います。

3 「経営理念」で何を顧客や同志と約束するか

ところで、繁栄する園の条件はどこにあるのでしょうか?

親は希望を叶えるべく、園選びをします。誤解を恐れずに言えば、

「園の商品とは、希望である」

そのように日々感じます。時代がどのように変わっても、親の子どもに対する希望は、たった一つでしょう。

「幸せな人生を歩んでほしい……」その一点に集約されるはずですが。では、「幸せな人生」とは何か?

園はその中心点を、言葉にして明確に伝える責任があるのです。もちろん、一人ひとりの親が考える子どもの幸せは千差万別であると思います。だからこそ、

- ① 未来の社会において必須な素養
- ② 幸せな人生の定義(未来において)

3 時間をかけて育んでほしい人間性

この3点を「指針」として親に明確に伝えていただきたいのです。

20年後、園児たちが踏み出す未来・社会がどう変容しているか? それは測りしれませんし、過去にならスピードでの変質でしょう。そんな激動のなかで「正解」を求めることはできないかもしれません。だからこそ、指針が大切なのです。

親は園に子どもを「託する」のですが、まさに、子どもの未来を園に託するのです。人生最初の先生に、明確な座標軸を示してもらい、そのベクトルに未来を託する……。

「正解」ではなくても、園長先生の「信念」や「思想・哲学」に耳を傾けたい。そう願う親は、圧倒的スピードで増えていると感じています。それは、過去に例を見ないほど予測不可能で、全く不透明な未来に対して、親が本能的恐怖感すら覚えているからです。

「経営理念」は、よく耳にする言葉です。理念とは、園と「顧客」、そして「同志」「職員」との約束です。

何を園児たちの未来に約束するのか? 職員とどんな「未来創造」を進めていくのか。

「信念なき教育を教育とは言わず、これもよくお伝えする言葉です。」

20年後の未来へ向けて、どんな希望を、園児たち、そして保護者に約束できるか?」

経営理念の思索は、そこから始まります。

全12回のテーマ(予定)

4月号	はじめに～「理念」が育てる園の未来
5月号	園長座談会 その1
6月号	園長座談会 その2
7月号	事例園1 (理念編)
8月号	事例園1 (戦略編)
9月号	事例園2 (理念編)
10月号	事例園2 (戦略編)
11月号	事例園3 (理念編)
12月号	事例園3 (戦略編)
1月号	事例園4 (理念編)
2月号	事例園4 (戦略編)
3月号	終わりに

*より良い企画にするために変更になる場合があります。

予告 5・6月号では、佐藤先生と素心塾の塾生である園長先生方による座談会をお届けします。どうぞお楽しみに。

プロフィール●佐藤芳直(さとう よしなお) / 1958年仙台生まれ。2006年4月、株式会社S・Yワークスを創業し現在に至る。前職を含め34年間のコンサルタント実績は3,800社にのぼる。近年は教育関係からの講演依頼も多い。